

令和2年度

委員会だより

N O . 2

組織・連携委員会編

北海道PTA連合会

令和2年11月4日(水)発行

組織の在り方、他団体や地域との連携、研修活動等に関することについて年3回の会議を持って調査研究活動を進めています。

【研究テーマ】

『ともに学び、行動し、連携するPTA活動と活性化のための組織の在り方』

【研究の視点】

- 持続可能な子育て支援体制におけるPTA組織の在り方
- 学校・家庭・地域が一体となって子どもを支える連携・協働体制の確立

【今年度の研究】

- ① 昨年度実施したアンケート結果をもとに、PTA組織や活動を取り巻く全道の現況を整理し、問題点・課題等を明確にし、持続可能な子育て支援体制におけるPTA組織の在り方や活動の活性化へ向けた取組・改善策を探る。
- ② 学校・家庭・地域が一体となって子どもを支える連携・協働体制の構築へ向け、PTA組織の維持・充実の仕方について協議を重ね、子どもを取り巻くすべての大人が子育てに関わる体制づくりについて研究する。
- ③ 令和3年度の研究大会に向け、発表テーマの見通しについて検討し、提言発表事例を選出・決定して、発表依頼をする。

10月17日の第2回組織・連携委員会での意見交流及び協議事項について

上記の①②にかかわる話し合い

具体的には、道Pアンケート(昨年度末に実施)集計結果をもとに、各委員の所属校(地区)の実態等も踏まえながら上記の①②にかかわる意見交流・協議を行う。

※ 7月の第1回組織・連携委員会で配布(欠席者には送付)した道Pアンケート集計結果について、事前に目を通し内容を確認しておいてくださるようお願いしました。

<意見交流より>

○今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどの会議が中止になり、またPTA不要論、会費不要論まで出ている。そのような中で自分たちができることをみつけて進もうとしている。正解かどうかはわからないが、やはり集まって話をするほうが、内容が、伝わる。勿論、仕事の関係で無理をさせる参加はさせない。PTAでできることは、(案

ですが)・消毒 ・蛇口を棒状にする ・ルーターを1つでも設置するなどPTAの存在をアピールするものを考えている。

- 例年の行事を縮小してでも行う方向で進めている。宿泊を伴う研修、研究大会の開催、うちの市では前向きな意見が多い。P役員決めに担任に任せるのは良くない。PTAの役割を細分化、サポーター制などはひとつの方策。会議の短縮化。PTAの役を担っている人に役得もありかな。PTA行事と地域行事を一体化すると予算を削減できる。
- 年度当初にほとんどのPTA行事については、やめることとした。単Pは3役だけ選出。役員に特権を与えるのは面白い。PTAとCSの関係で、授業でなくても学校で手伝えることがあればよい。会費については、集めてはいるが、そのまま繰り越すのは難しい。地域によって人との関りに差があり、PTAにも影響している。
- 運動会、学芸会は、2学期に行う。PTA役員は優先的に場所とりができる。皆が了解している。入学する時に「何年生の時に役員をする」というようなルールをつくっている。PTA会長に負担をかけないようにしている。(あいさつも輪番に)
- コロナ感染が一般的なことになってきている。

<令和3年度の研究大会 組織・連携委員会担当分科会 提言発表に向けて>

- ・ひとりひと役、皆で役割を分担する、組織改革していくなど工夫した取組をしている学校がある。
- ・旭川市に前向きな良い取組をしている学校がある。取組状況を聞いてみる。
- ・次回の委員会でアンケートをもう一度見て、検討する。

☆次回の委員会は、12月5日(土)、13:00~です。

北海道PTA連合会事務局



〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目3番地22 時計台通ビル6階
TEL (011)251-6937 FAX (011)210-0929
Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp